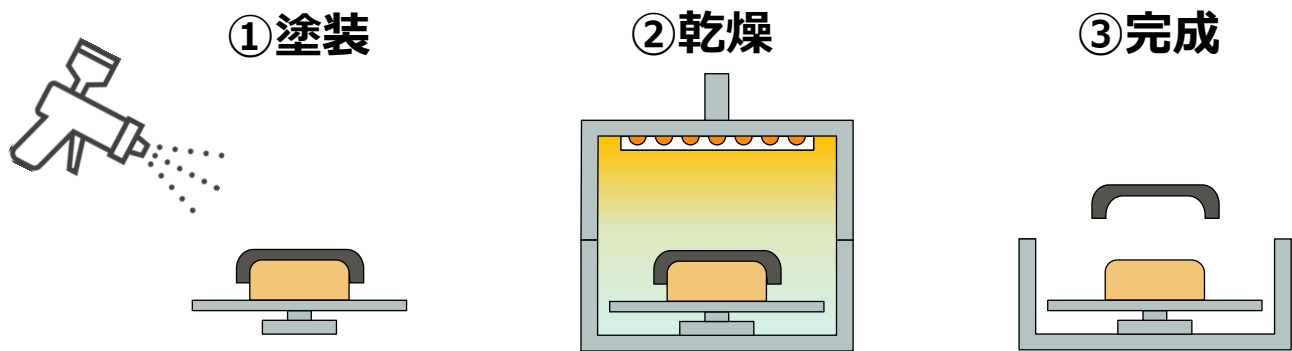


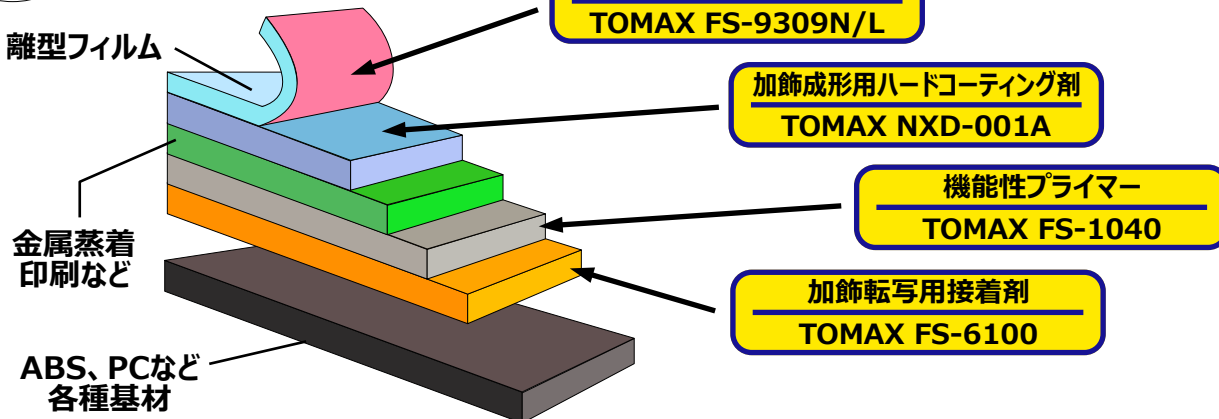
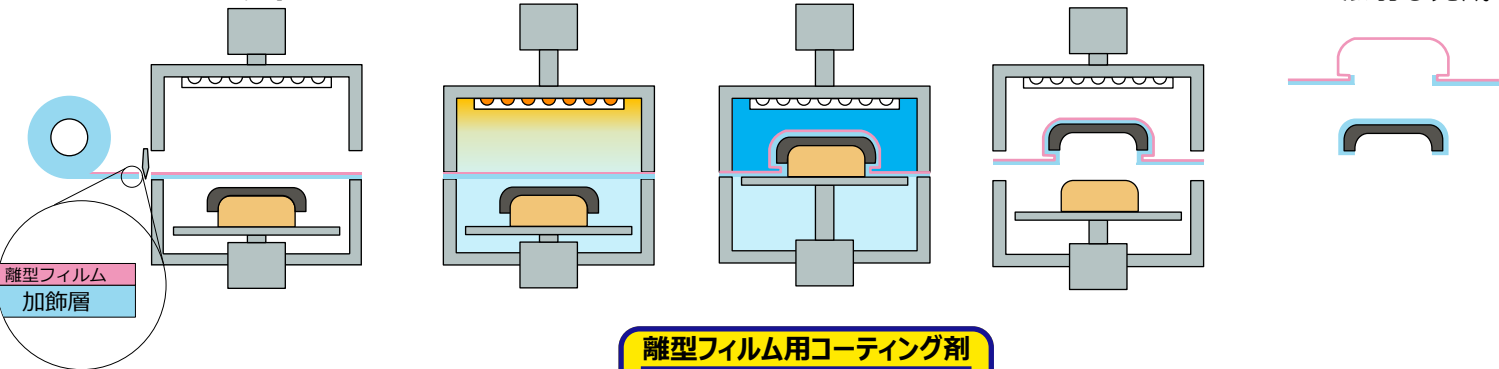
当社ではSDGs（持続可能な開発目標）の観点より、従来の「塗装」から印刷したフィルムを貼り付ける「加飾転写技術」の開発に取り組んでおります。

## スプレー塗装方式



## 加飾転写方式

- ① フィルムをセット
- ② 真空引き + 加熱開始
- ③ フィルム軟化、テーブル上昇
- ④ 大気導入後に基材を取り出し
- ⑤ 離型フィルムを剥離。UV照射し完成！

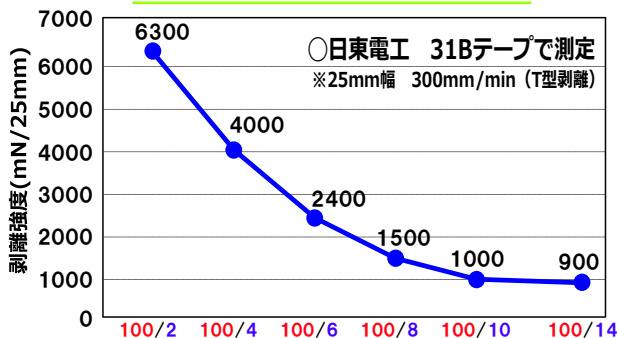


# 日本化工塗料が提案する加飾転写技術

## 剥離強度を自由にコントロール

### 離型フィルム用コーティング剤 TOMAX FS-9309N/L

重剥離と軽剥離の混合による剥離強度



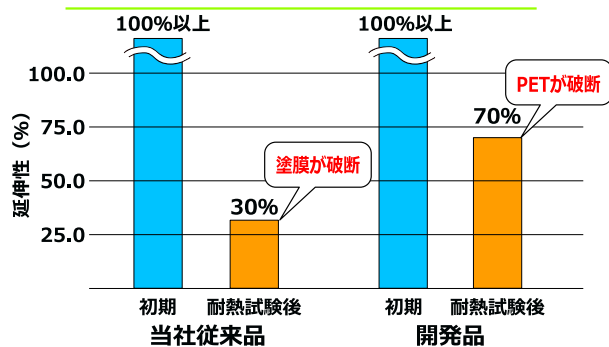
### 塗料比率【FS-9309N/FS-9309L】

- ・シリコン化合物を含んでおりません
- ・重剥離と軽剥離タイプを混ぜることで剥離強度のコントロールが可能。
- ・用途に応じて、軽剥離から耐熱用途まで各種ラインアップあり
- ・剥離させる被着体に合わせて、さまざまなカスタマイズ可能。

## 経時(熱による促進試験)でも伸びます

### 加飾成形用ハードコーティング剤 TOMAX NXD-001A

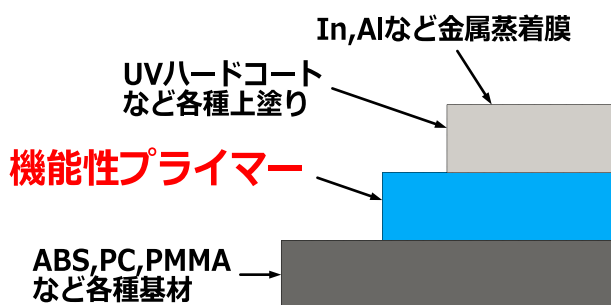
耐熱試験後(110℃×24時間後の延伸試験)



- ・アフターキュアだからできる。高い延伸性と高硬度の両立
- ・自動車内装スペック(耐薬品性、耐光性)をクリア。
- ・アフターキュアタイプで課題となる、経時劣化や耐熱性による塗膜劣化(延伸性低下)を抑えました。

## 各種基材や上塗りと密着

### 機能性プライマー TOMAX FS-1040

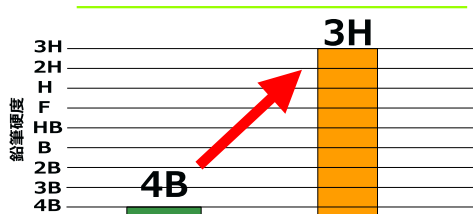


- ・お客様の生産ラインに合わせて、UV硬化系と熱硬化系の選択可能
- ・未処理PETから難付着素材のCOPフィルムまであらゆる基材に対応。
- ・上塗り(蒸着金属)によって、数多くのカスタマイズが可能です。

## 接着剤だから素材の硬度が活かれます

### 加飾転写用接着剤 TOMAX FS-6100

転写後の鉛筆硬度(当社ハードコートを使用)



従来タイプ 当社開発の接着剤  
※当社ハードコート(NXD-001A)をNATS空気転写機でABSへ転写

- ・従来の粘着剤タイプとは違い、薄膜での使用が可能。
- ・接着層が薄膜なので、基材の硬度が活かれます。
- ・タックフリーになるので、成形時にショックラインが出ません。
- ・自動車内装を考慮した設計につき、耐薬品や耐光性が良好です。